ADOBE XD TRAINING MANUAL

ABRIDGED EDITION

Adobe XD 速習用テキスト

・起動時に表示されるスタート画面

・デザインモードのワークスペース

・デザインモードとプロトタイプモード

・ショートカットキー操作について

・パス編集モードの切り替え方法

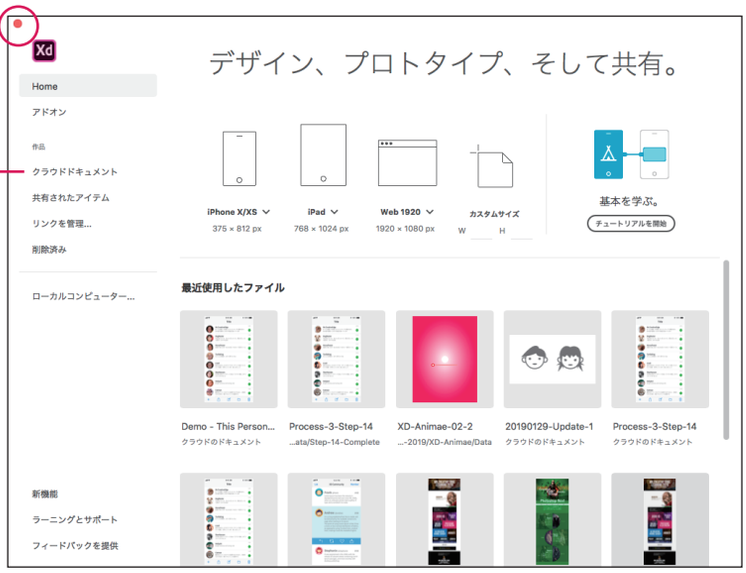
・XD の作業を使用される用語について

2019.5.22

起動時に表示されるスタート画面

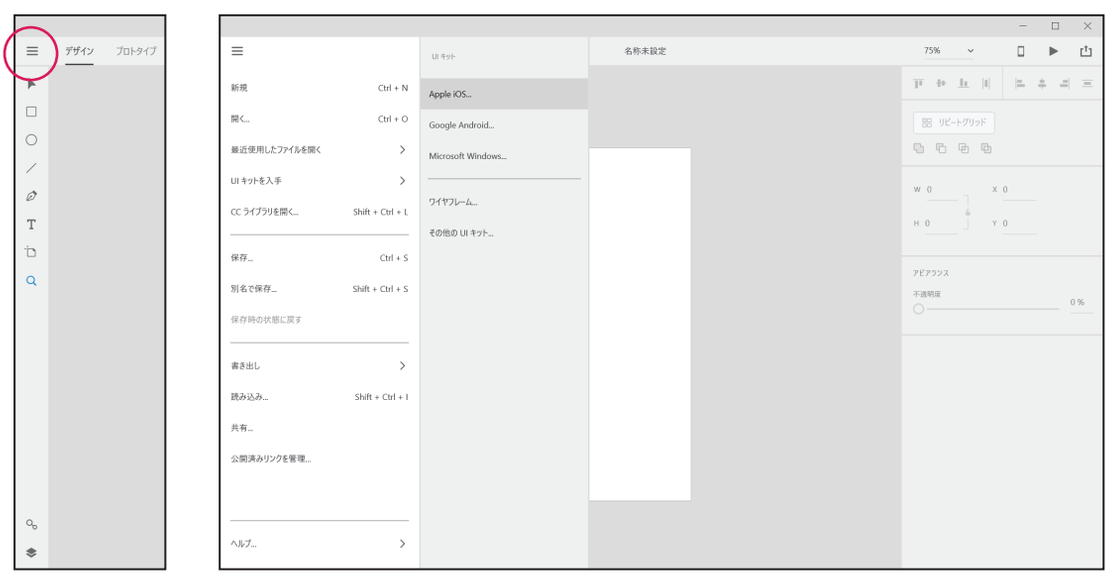
パネルを閉じる場合は
このアイコンをクリック

クラウドドキュメント
クラウドに保存されている XD ファイル
サムネイルをクリックすると開きます



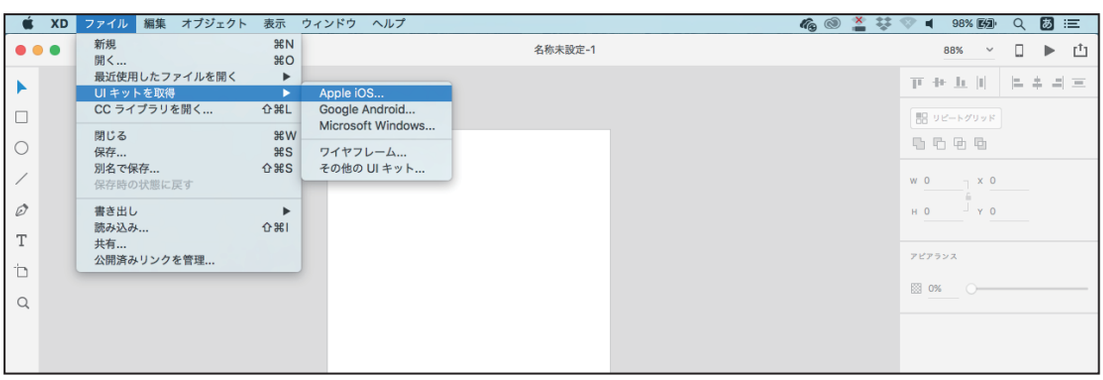
Windows 10 のメニュー選択

例：アイコンをクリック→「UI キットを入手」→「Apple iOS」を選択

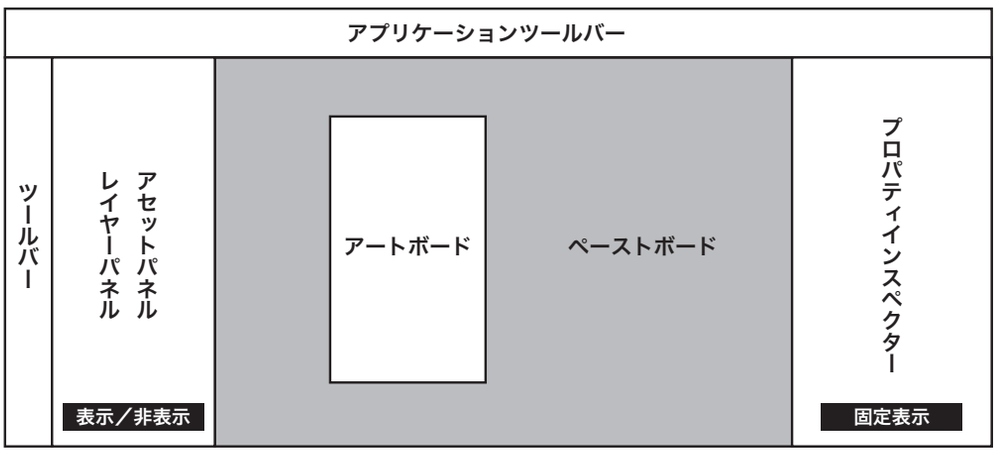


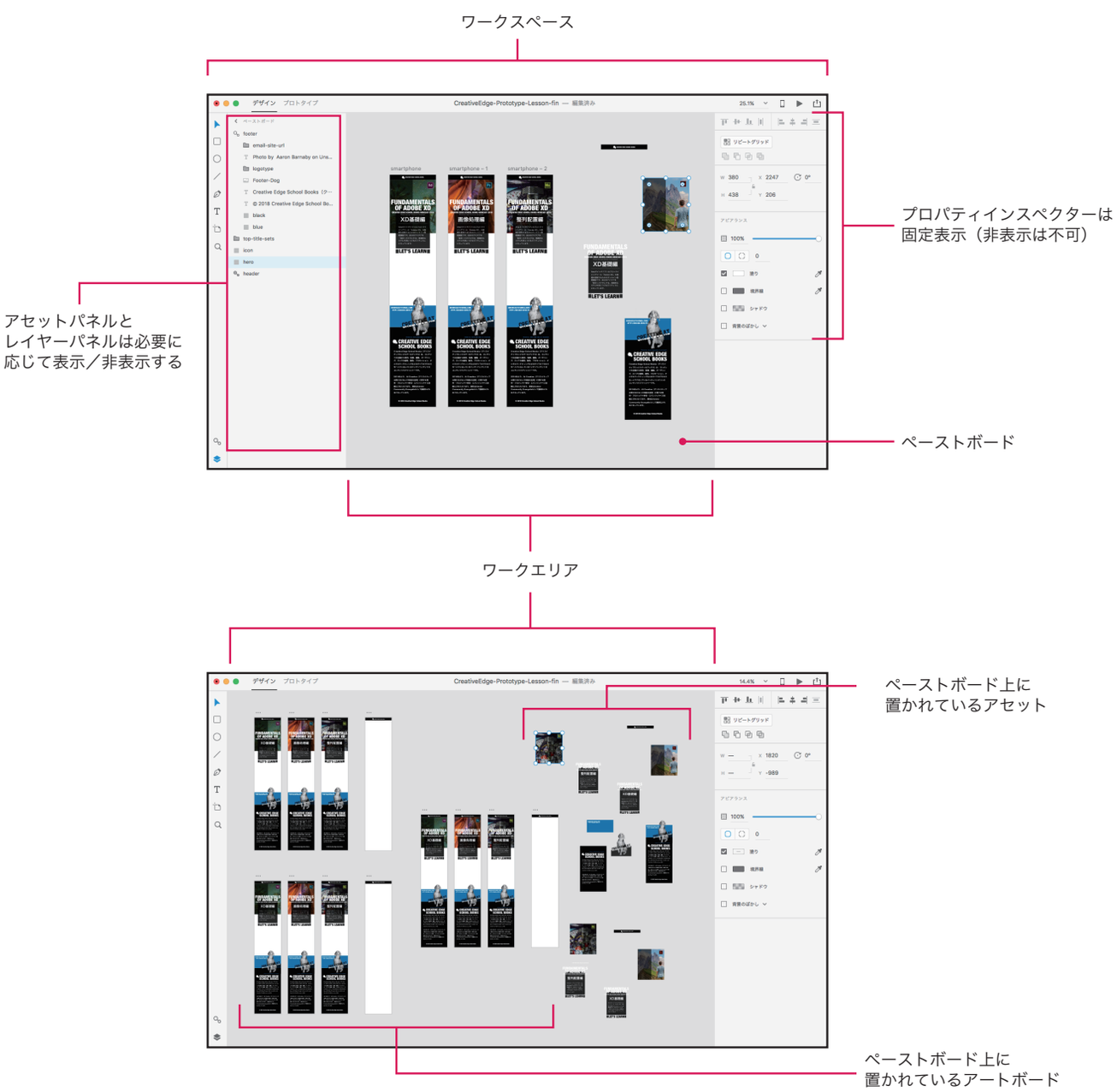
macOS のメニュー選択

例：ファイルメニュー→「UI キットを取得」→「Apple iOS」を選択

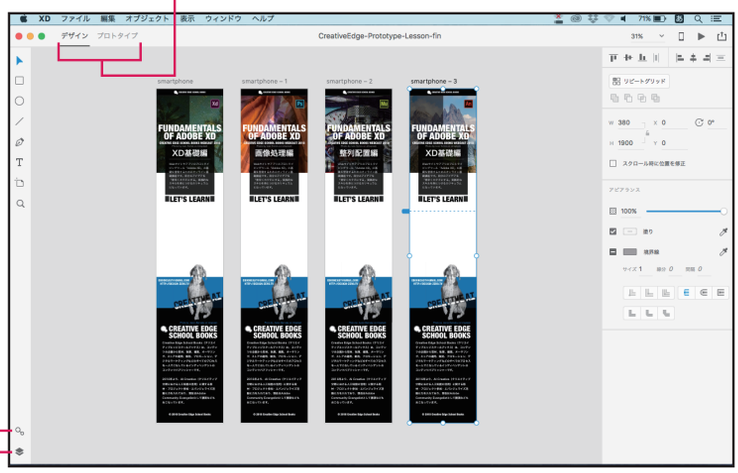


デザインモードのワークスペース

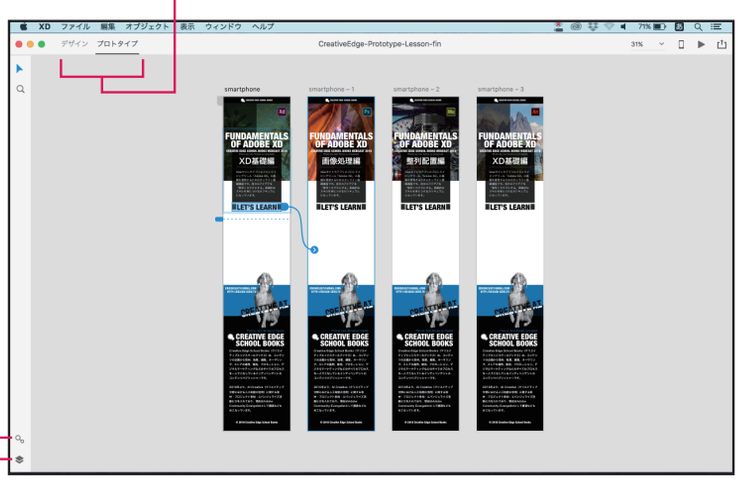




デザインモード

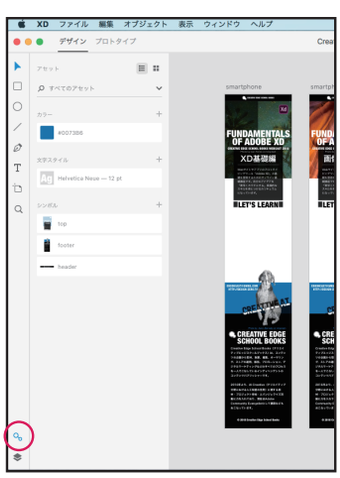


プロトタイプモード

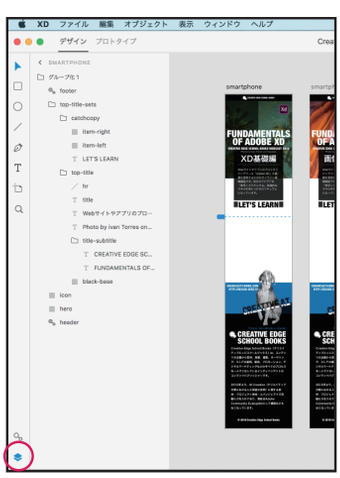


※プロトタイプモードに
プロパティインスペクターは
表示されません

アセットパネル



レイヤーパネル



アセットパネルとレイヤーパネルは
デザイン、プロトタイプどちらの
モードでも使用可能

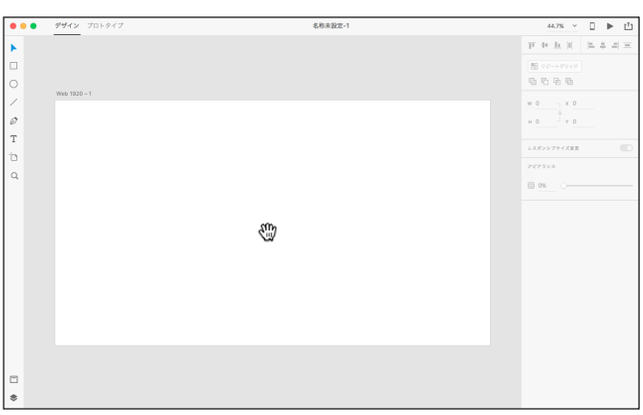
ショートカットキー操作が基本

XD は紙にペンで描くように軽快に操作できる軽量のプロトタイピングツールです。アートボードのズームイン・アウトや移動などの操作は使用頻度が高いため、可能なかぎりショートカットキーで実行していきましょう。ワークエリアの外に出る操作が劇的に減りますので、より直感的に進められ、ビジュアルデザインの作業に没頭することができます。

［01］それでは、XD を起動してください。スタート画面が表示されますので、ここではアートボードの「Web 1920」をクリックします。

［02］XD のワークスペースは上部に「アプリケーションツールバー」、左端に「ツールバー」、そして右端に「プロパティインスペクタ」が固定配置されています。ツールバーの下にはアセットとレイヤーのアイコンがあり、クリックでパネルの表示／非表示を切り替えることができます。
ここでは、パネルを非表示にしておきましょう。

［03］まず覚えておいてほしいのは、アートボードのズームイン・アウトと移動です。
移動は「スペースバー」を押しながらドラッグします。
マウスのカーソルが手のひらアイコン（ハンドツール）に変わります。ここでは、パネルを非表示にしておきましょう。



［04］次はズームイン・アウト（拡大表示・縮小表示）です。
ツールバーに「ズーム」ツールがありますが、ショートカットキーで操作しましょう。
command + shift +「+」（shift + ctrl +「-」キー）を押すとズームインします。
command +「-」キー（ctrl +「-」キー）でズームアウトです。ワークエリアの中心がズームイン・アウトする仕様になっています。

Mac
ズームイン：command + shift +「+」
ズームアウト：command +「-」キー

Windows
ズームイン：shift + ctrl +「-」キー
ズームアウト：ctrl +「-」キー

［05］全体表示と 100% 表示／ 200% 表示のショートカットキーも覚えてください。全体表示は、ペーストボード上の全てのアートボードを画面サイズに合わせて表示します。頻繁に使用する操作になります。

Mac は、command＋「0」、Windows は、ctrl＋「0」です（数字の「0」）。
100% 表示／ 200% 表示は、数字の「1」と「2」を使います。

Mac
100% 表示：command＋「1」
200% 表示：command＋「2」

Windows
100% 表示：ctrl＋「1」
200% 表示：ctrl＋「2」

ショートカットキーによる操作は「初心者から実践すべき基本」ですが、使用している PC によっては別の方法が適しているかもしれません。
例えば、Apple の MacBook Pro を使用しているなら、トラックパッドを使ったピンチイン・アウトが便利です。キーボード操作より速く、直感的ですからトラックパッド利用を基本にした方がよいでしょう。

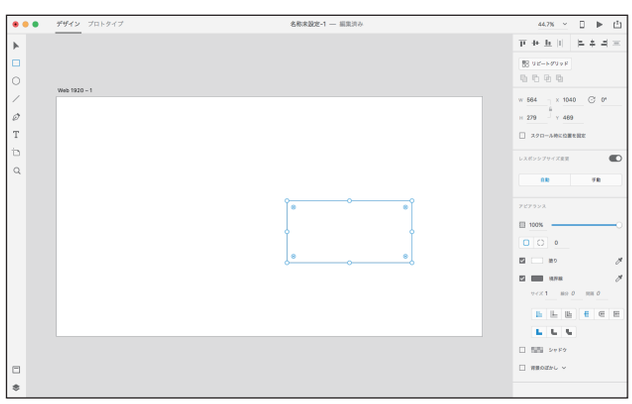
また、マウスのホイール操作に慣れている人は、ショートカットキー操作より作業しやすいはずです。

トラックパッド操作
ズームイン：ピンチアウト
ズームアウト：ピンチイン

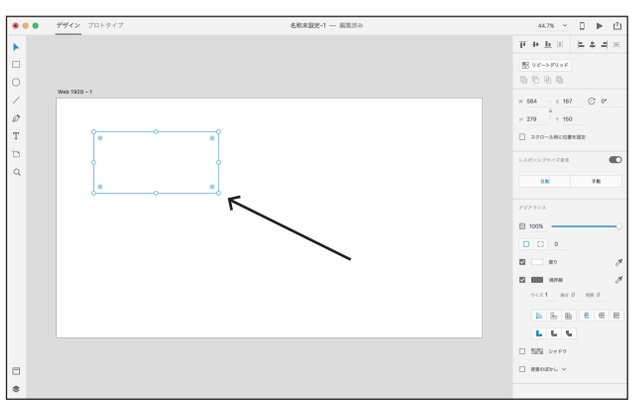
マウスホイール操作
ズームイン・アウト：
Mac［option＋スクロールホイール］
Windows［ctrl＋スクロールホイール］

選択ツールはキー操作で切り替える

ツールバーの「選択ツール」は描画作業において最も使用するツールです。例えば、長方形を描いた後、位置を変更したい場合は選択ツールに切り替えなくてはいけません。楕円を描いたり、テキストを入力した場合も同様です。必ず「選択ツールに切り替える」操作が必要になりますので、ツールバーのアイコンをクリックする方法ではどう考えても非効率です。
キー操作を覚えましょう。



［01］ツールバーの全てのツールにショートカットキーが割り当てられていますが、まずは「選択ツール」です。
長方形ツールを選択してアートボードに適当な大きさの長方形を描いてください。



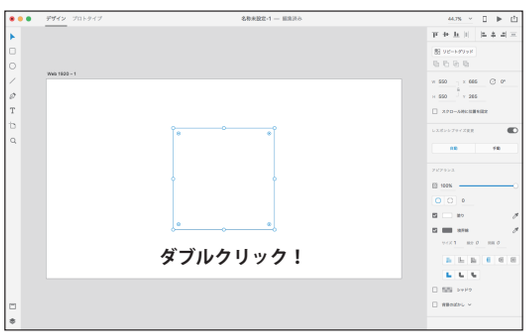
キーボードの「V」を押します。
カーソルが選択ツールの形状に変わったはずです。描いた長方形をドラッグして動かしてみましょう。

［02］操作に慣れてきたら、長方形ツールや楕円形ツールなど、他のツールもショートカットキーを覚えていきましょう。
線ツール（LINE）は「L」、ペンツール（Pen）は「P」のように、ツール名の頭文字が割り当てられていますので、すぐに覚えられると思います。

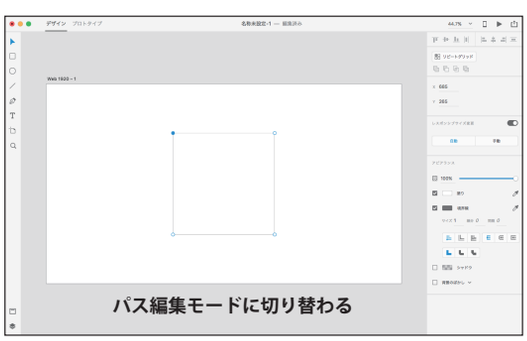
長方形ツール：R
楕円形ツール：E
線ツール：L
ペンツール：P
テキストツール：T
アートボードツール：A
ズームツール：Z

パス編集モードの切り替え方法

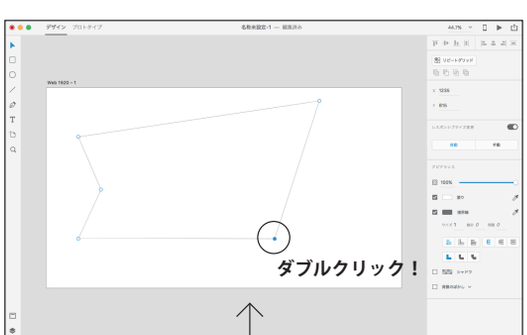
XD の描画ツールは、長方形と楕円形、直線、曲線しかありませんので、Illustrator などの作図ツールとは比較になりませんが、XD 独特の柔軟性があり、コツをつかむことで高速描画が可能になります。



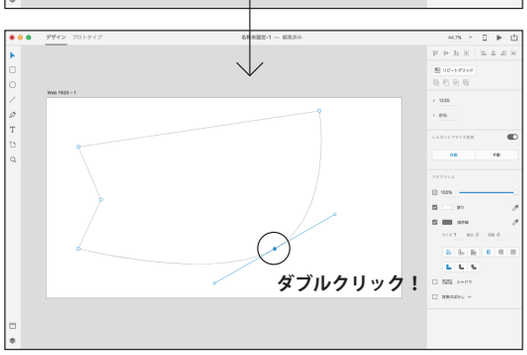
長方形ツールや楕円形ツールで描いた図形を「シェイプ」と呼びます。シェイプとは、数値情報を内部に保持しているグラフィックデータ（ベクターグラフィック）のことです。
XD は、シェイプを編集するためのモードを持っており「ダブルクリック」で切り替えることができます。



左上のポイントが黒くなっています。これは選択状態を表してします。つまり「パス編集モード」に切り替わったということです。余白をクリックすると解除されます。
パス編集モードに切り替わると、編集可能なアンカーポイント（コントロールポイント）が有効になります。2 つ以上のアンカーポイントによって引かれたラインを「パス」と呼びます。



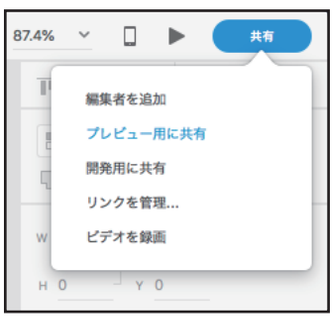
アンカーポイントをダブルクリックすると「折れ線」を「曲線」に変換できます。ダブルクリックする度に「折れ線」と「曲線」が切り替わります。

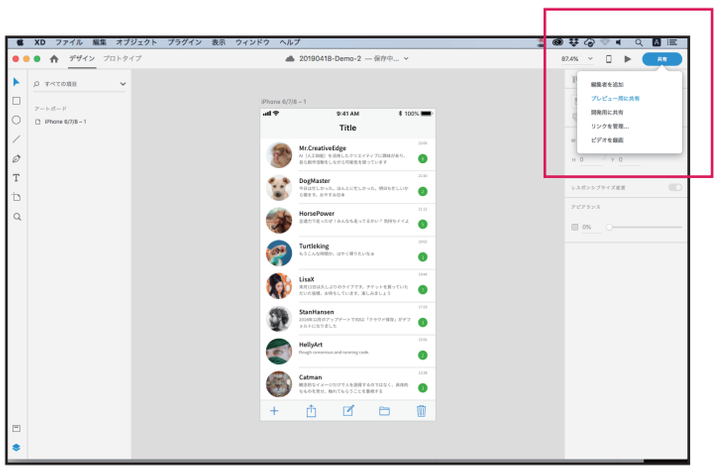


アンカーポイントから出ている 2 つの方向線をハンドルと呼びます。このハンドルを動かすことで曲線を自由にコントロールすることができます。

作成したプロトタイプを公開する

(1)「共有」のポップアップパネルの
「プレビュー用に共有」をクリックします。



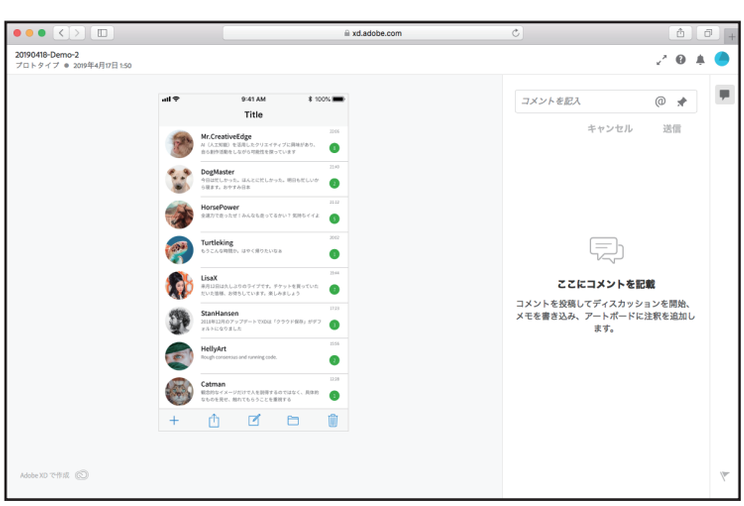


「リンクを受け取ったすべてのユーザーが
閲覧できます」が選択されていることを確認

「コメントを許可」がチェックされている
ことを確認

(2)「リンクを作成」をクリックします。

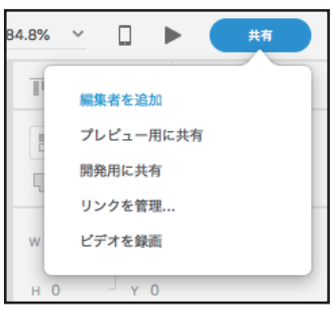
(3)「リンクをコピー」をクリックします。

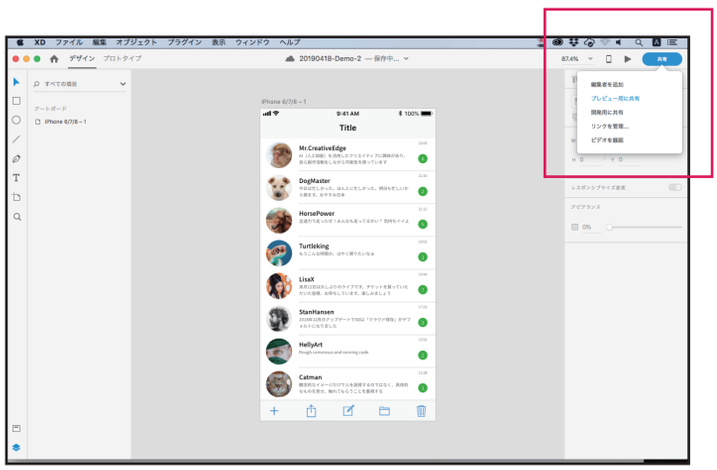


(4) Web ブラウザーを起動して、コピーした URL で
プロトタイプの公開ページを開いてください。

編集者を追加する（共同作業）

（1）「共有」のポップアップパネルの
「編集者を追加」をクリックします。





（2）編集者として招待する人のメールアドレスを入力します
※Adobe ID のメールアドレス

（3）「招待」ボタンをクリックします
メッセージは任意です

送信されるとステータスが表示されます

招待されたユーザーには通知が届きます

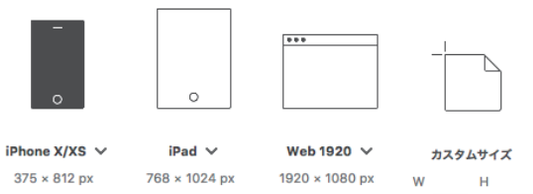
Creative Cloud デスクトップアプリケーションに通知が届きますので、メッセージをクリックしてください。
Adobe XD が起動してプロトタイプ（XD データ）が開きます。

ハンズオン講習で使用するメールアドレス：

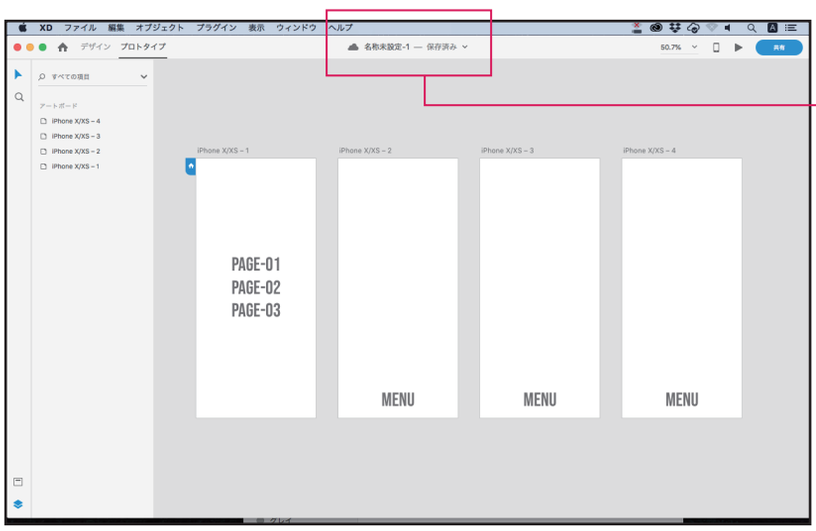
ebookcast@gmail.com

コラボレーションワーク　1 チーム 4 人の場合（小林さん、山田さん、鈴木さん、高橋さん）

STEP 01：フォーマットを決める



STEP 02：小林さんが、低忠実度の簡易なプロトタイプを作成する



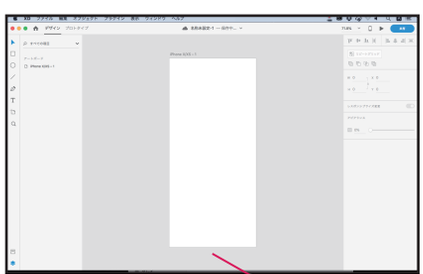
クリック

名前を付けて保存をする
チーム名（Team-A など）を名前にする

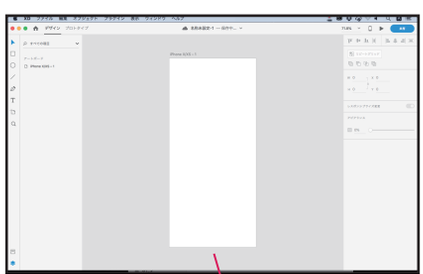
STEP 03：3 人（山田さん、鈴木さん、高橋さん）を編集者として招待する

STEP 04：コラボレーションワークを開始

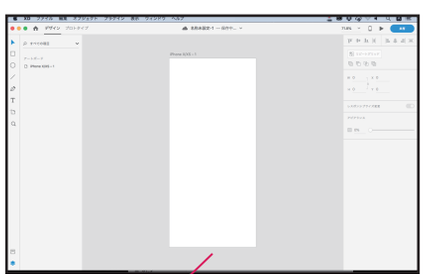
山田さんは第 1 画面を作成



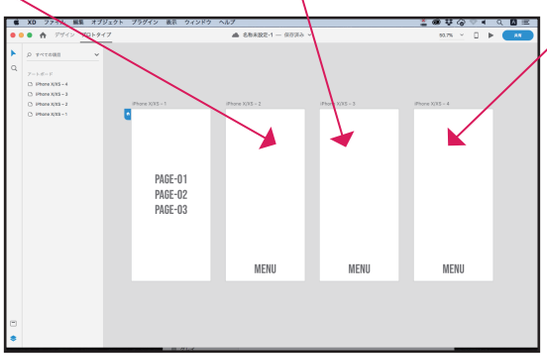
鈴木さんは第 2 画面を作成



高橋さんは第 3 画面を作成



完成後にペースト　完成後にペースト　完成後にペースト



チームメンバー全員で共有している
プロトタイプ